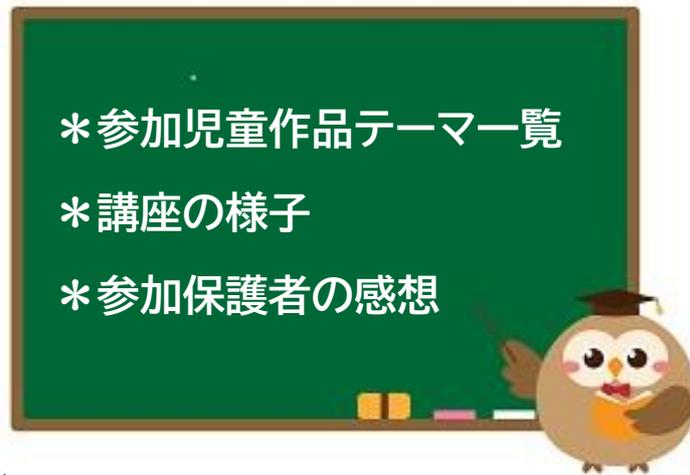


# 令和7年度

## 親子でチャレンジ調べる学習講座 報告



### 1 実施日時

6月14日(土) 15日(日) 13:00~16:30

7月5日(土) 6日(日) 13:00~16:30

### 2 実施場所

茅野市図書館 2階閲覧室・どんぐり図書室

### 3 参加者

(出席者数)	親子 (組)	1年 (人)	2年	3年	4年	5年	6年	中1	計 (延べ人数)
6/14(土)	7	1	0	4	1	1	0	1	7組8名
6/15(日)	5	0	1	1	0	0	2	1	5組5名
7/5(土)	6	0	0	3	1	1	1		6組6名
7/6(日)	6	0	2	2	0	0	1	大人	6組6名
計	24	1	3	10	2	2	4	3	24組25名

\*申し込み数 のべ26組 29名 (2回申し込み 11組 12名)

\*欠席数 4組 5名 (6月都合で欠席し7月2回参加 1組  
7月1回参加 1組)

6月親子で参加し、7月親のみ参加 1組

7月2回申し込み、1回のみ参加 1組

実参加者数 15組 (保護者 15名・児童 16名 計 31名) 昨年度比 (件数-7 児童 -10)

※今年度の特徴として、7月の参加者は、全て2回申し込みをした人や、6月に出られなくて7月2回という参加者もあり、実参加者数は少なくなっている。

令和7年度 親子でチャレンジ！図書館を使った調べる学習講座

参加者作品テーマ一覧 ※作品テーマは、本人表記の通り

学校名	学年	テーマ
永明中	1	なぜ制服を着なければいけないのか？
東部中	1	大根は大きな根？
玉川小	1	いもり どうしてだっぴするの？
豊平小	2	セキレイは、どうやってねているの？
玉川小	2	なんでくものかたちが かわるのか。
		かみなりは なんで ひかるのか。
永明小	3	大坂の陣は なぜおきたか？
宮川小	3	なぜおカイコ様のような虫は だっぴをするのか？
		なぜ 雷が落ちるのか？__
玉川小	3	ホタルは何で光るの？
玉川小	3	何で 筋肉つうになるの？
		何で 筋肉つうになるの？（継続）
永明小	3	ふじ山は、どんな山？
		ふじ山は、なぜみんな好き？（継続）
米沢小	3	しん号は緑色なのに なぜ青って言うのか
		大昔の人は生肉を食べてたのか
宮川小	4	ホタルイカは、なぜ光るのか？
永明小	4	砂鉄のなぞ
玉川小	5	海の生き物の形～なぜマンタは平べったいの？
		サンゴはなぜへる？
米沢小	6	海のない諏訪地域で、なぜ寒天が特産物になったのかな？
		海のない諏訪地域で、なぜ寒天が特産物になったのかな？ （継続）
宮川小	6	防災 ぼくにできること
		しん台特急 サンライズエクスプレスについて知ろう！

\*色付きのセルは1回のみの参加

## 参加者の様子から

6月14日（土）



### ふじ山は、どんな山？

自分で「これ行きた〜い！」と参加した3年生。「世界遺産のことを調べたい」と大きなテーマで始めました。世界遺産を知りたいと思ったきっかけは、学校でエベレストを見たこと。そもそも『世界遺産』とはなんなのか、ポプラディアを使って『世界遺産』を引いてみると…。その情報の多さにビックリ。日本地図に記された『世界遺産』を見るうちに、原爆ドームが気になったり、

屋久島が気になったり…。知りたいことが広がりすぎてしまいそうでした。そこで、お家の方にインタビューをしていただき、「そもそも、世界遺産を調べたいと思ったきっかけは？」「エベレスト！世界一高い山！…あ！富士山も山だ！どうして世界遺産になったのかな？」と自分の調べたい気持ちを整理して、まずは富士山を知ることに落ち着きました。富士山をよく調べて、どうして世界遺産になったのか、自分なりに考察していきます。富士山にまつわる資料は盛りだくさん。読んでいるうちに、「へ〜！これも知りたかった！」とまた広がりすぎそうでしたが、お母さんと「今日は、『富士山はこんな山ですよ。』と伝えられることを目標にしよう」とテーマに戻ってまとめていきました。最後に、「富士山のことを知って、富士山に登りたくなりました。」と感想を発表。作品を読んだ人にも、富士山の魅力と世界遺産になった意味が伝わるというですね。

6月15日（日）

### なぜ制服を着なければ

#### いけないのか？

小学生の時から、毎年参加して力をつけてきた中学1年生。中学生になり、知りたい気持ちが強く、制服をキーワードに、テーマをしばり込んでいきました。

まず、『制服』というものがいつできたのかを調べると、ある本には女生徒の

『体操服』が始まりとあり、予想外の結果に驚いていました。服飾史・教育関係の資料・人権など、様々な方面の資料を読み比べるなかで、自分の予想に近い「経済的な格差をみせない」という考え方もみつけ、「人や考え方によって



制服の捉え方もちがいそう。」と、深まっていくのが楽しみになっています。

おばあちゃんも着ていたという自分の学校の制服についても、学校の記念誌を読んだり友だちにアンケートを取ったりしながらまとめていくという、調べる計画も立て、自分なりの『制服論』として、作品がまとまってくるのが楽しみです。

#### 6月の講座に参加した保護者の感想より

- ・初めての参加でしたが、集中してたくさん文字を書けていたので、よくやっていたと感じました。ていねいに記入方法や調べ方を教えていただき、2年生でも調べやすいところを探していただいたと思います。(2年母)
- ・どんな雰囲気か分からず参加しましたが、和気あいあいな感じで、皆さん手伝ってくださり、アドバイスもいただけて、わかりやすく作業を進めることができました。ありがとうございました！引用の仕方もわかって良かったです。まとめ方の方も参加しますので、よろしく願います。(3年母)
- ・文字を書いたり、読んだりするのが苦手なので、とても時間がかかって大変でした。でも、今回やってみて、本でいろいろなことが調べられること、思っていた本と別の角度から調べることで、答えが導き出せることを気づかされました。まだ、一人で全てをやることは、難しそうですが、道すじが見えたように思いました。(3年母)
- ・取り組むまでに時間がかかりましたが、3年生の姉は、始めてみれば、頑張っ取り組んでいました。中には、難しい資料もありましたが、本を読んで知らなかった情報を見つけて驚いたり、新しい疑問を見つけたりする場面もありました。1年生は、まだひらがなの勉強中ということもあり、集中力が続かず、二人同時に進めるのはかなり大変でした。私も勉強になりました。(3年・1年母)
- ・学校から帰ってくるなり、「これ行きたーい！」と調べる学習のチラシを手に話してきました。2年生のときは、自分で好きな動物の調べる学習をしましたが、もっとやってみたいという気持ちが強かったようです。実際に参加してみて、テーマの絞り込みに苦戦する姿もありましたが、調べ始めると、いろいろなことがもっと知りたくなったようです。スタッフの皆さんの手厚いご指導が、とてもありがたかったです。親もとても勉強になりました。(3年母)
- ・子どもの疑問をどう引き出すかなど、たくさんお声がけいただき、ありがとうございました。テーマ選びのチャート表も分かりやすく、とてもよかったです。この夏、子どもと一緒に博物館や城めぐりもしてみたいと思いました。(3年母)
- ・3回目の参加です。毎回この講座でテーマをじっくり考える時間になっています。調べる本を選ぶサポートをしていただけるのが、とても参考になってありがたかったです。子どもの興味を大切に、声掛けしていただけるのもとてもよかったです。調べる方法や引用方法なども、あらためて確認することができました。夏休みに、調べる学習についての質問や相談をまた開催していただけると安心です。(4年母)
- ・毎回、資料となる本をたくさん用意していただき、ありがたいです。また、調べる学習で大切なこと、調べる学習の進め方も教えていただき、とても参考になります。テーマから外れないよう、広がりすぎないように、集めた情報を取捨選択していく力をつけることも大切だなと感じます。得たものはすべて・・・と欲張りたくなってしまうので、なかなか難しいです。(6年母)
- ・子どもの苦手な学習で、毎年困っていたので参加させていただきましたが、センターの方たちが、本当に親身になって声掛けや提案などを出していただいたおかげで、完成させられました。参考図書なども集めていただいたりして、本当に細やかな対応で、ありがとうございました。(6年母)

## 6月の講座に参加した保護者の感想より

- ・毎年来ています。ありがとうございます。  
私たちでは思いつかない発想や本を紹介していただき、とても助かっています。説明方法も分かりやすく、親切です。多くの方が、ぜひ参加してもらえると嬉しいです。  
頑張ってみます。(中1母)
- ・最初のテーマ決めで悩み過ぎてしまい、いろいろ時間が足りなくなっていました。アドバイスをいただき、今まで毎年大変だったテーマ決めができて、方向がみえたので、参加してよかったです。でもやっぱり難しいですね。(中1母)

## 7月5日(土)

### サンゴはなぜへる？

6月の講座では、水族館へ行ったときに気になった「マンタはなぜ平べったいのか？」を調べていた5年生。マンタは本当はエイの仲間であることなど、いろいろな発見があったもののそれ以上深められなさそう…と、新たなテーマをもってチャレンジに来ました。

「サンゴが減っているのは、人間が海を汚しているから、汚い水がサンゴの中に入って死んでしまっていると思う」と予想を立てて、4類の本をたくさん集めて調べました。サンゴは石のように見えるけれど、ちゃんとした生き物であること。水が汚れることだけではなく、地球温暖化も関係していることなど、いろいろな発見があり、ではサンゴを増やすことはできるのか？と、新しい疑問が生まれてきました。沖縄までは行けなくても、水族館の人にインタビューしたりしながらもっとサンゴのことを知って、サンゴを守るために自分にできることを見つけたいと、どんどん学習が深まっていきそうで楽しみです。



## 7月6日(日)

### 何で 筋肉つうになるの？



親子でチャレンジ初体験の3年生。

6月の講座の時に、家の都合で参加できなかった分、7月に2日連続でチャレンジしました。

自分の陸上教室での体験から、家でテーマを決め、学校の図書館からも本を借りて、少し手掛かりを持ってスタート。スイミングや陸上に挑戦する頑張り屋さんは、自分なりに筋肉痛は「強く力を入れるとなるのかな?」「体をやめましょうとか、体がつかれていま

すよという合図だと思う」と予想を立てて、「筋肉とは何か」「疲労物質とは何か」から調べ始めました。

筋肉がちぢんだりのびたりして体を動かしていることや、人の身体をつくる骨格筋が400個もあることにビックリ。最初は「何で？」と「筋肉痛の原因」を探ることからスタートし、自分の経験と家族の様子を思い出しながら、「筋肉痛になりやすい人となりにくい人」がいることに気づき、疑問が深まっていきました。3年生には難しいことばや漢字もありましたが、お母さんと一緒に本を読んでたくさんメモをし、みつけたカードを集めて分かったことが増えるのを楽しんでいるようでした。運動不足の人が筋肉痛を起こしやすいことから、運動をする前のストレッチが大切だということも分かり、分かったことを元に、自分の身体に合ったストレッチなど、かかりつけのお医者さんにもお話を聞いてみようという意欲をふくらませていました。

#### 7月の講座に参加した保護者の感想より

- ・ 自宅でゆっくり時間を取るのは難しいけど、こうやって自宅とは別の場所で、調べる活動だけに集中して時間を創れる機会は、貴重だと思いました。(3年母)
- ・ 調べたいことを考えるというのも、とても新鮮で、普段すぐにネットで調べてしまうので、予想したり、どうなんだろう？と子どもと話し合ったりすることができたことが、とても楽しく、私も学びが多かったです。  
最後までが頑張って仕上がって、良かったです。(2年母)
- ・ 親身になってサポートしていただき、初めてで何もわからない親子でも、楽しく進めることができました。子どもも、前回(6月)も「とても楽しかった」と言っていて、今回の参加も楽しみにしていました。こうしてここでやってみなかつたら、夏休みにとっても苦労したであろうことは間違いありません。どうもありがとうございました。(3年母)
- ・ 夏休みの宿題で、毎年苦戦しているのでも、参加しましたが、応援センターの方をはじめ、声掛けをたくさんしていただき、テーマ決めや文章の書き方など、アドバイスしていただいたおかげで、完成させることができました。(6年母)
- ・ 2回目の参加でしたが、前回とテーマを変えて調べました。難しい漢字も頑張って記入していたのが印象的でした。天気について、他にも様々なテーマがあると思うので、これを機に、子どもと調べてみたいと感じました。(2年母)
- ・ テーマにそった本を探していただき、助かりました。  
調べる学習だけでなく、親子で本に触れられるイベントがあつたら、参加したいです。(4年母)
- ・ 今回は、先月に続いて2回目の参加でしたが、前回よりも集中して取り組んでいたように思います。文字を書いたり、考えたりすることがとても苦手ですが、前回よりもスムーズにできました。回数をこなすことにより、ステップアップしているので、学年が上がるごとに、上手にまとめていってほしいなと思いました。(3年母)
- ・ 調べていくうちに、また新しい疑問が出てきて、親も「？」と思うことがあり、楽しかったです。いつも資料をたくさん探していただき、ありがたいです。  
これからさらに調べ、工夫しながらまとめていこうと思います。(6年母)
- ・ 自分が自宅で接している子どものようすと違いを知ることができてよかった。子どもにとっては、かなり歯ごたえのある課題であった。だが、単純な考えで終わらないことへの導きが、とても参考になりました。  
計画、準備など大変なことが多いと思いますが、続けていただきたい。(3年父)

- \* 6月はテーマ決めに、7月はまとめに重点を置いた講座に変更して3年目。  
それぞれの内容についての周知もされてきて、6月7月の2回参加を希望する人が増えた。保護者の調べる学習への関心が高まっていると思われる。  
そこで、今年は7月の講座ではまとめ用のテキスト（調べる学習ナビを活用）を準備し、引用の仕方をていねいに扱うようにした。  
今後もこの傾向が続き、2回参加希望ばかりになると、実参加者数は16組までとなる。1回の講座での受け入れには限界があるので、今後、参加希望者が増えてきた場合は、講座の回数を増やす等の検討が必要になる。
- \* ログフォームでの受付が定着した。定員達成時の対応など、申込時に困らないよう、表示の内容などより分かりやすくしていく。
- \* まとめに入る時刻を16時で声掛けしたが、みつけたカードに書きたいことが終わらず、30分以上伸びてしまった。（6月）  
子どもたちの調べたいことがはっきりしてきて、資料も十分に見つけられると、みつけたカードを集めることが楽しくなって書く時間が足りなくなってしまふ。子どもたちの「見つけた喜び」や「調べたいことへのこだわり」を大切にしつつも、学年や個々のようすに応じて、時間内にまとめられるよう、みつけたカードの枚数を制限することも視野に入れていく。